くじの実施方法について

【くじの方法】

　購入申し込みにおいて購入候補者となるべき同価、同量の超過削減量購入申込書(以下、「購入申込書」という。)を提出した者が２者以上いる場合、くじにより購入候補者を決定します。この方法は次のとおりです。

|  |
| --- |
| (1)埼玉県企業局が購入申込者それぞれに「乱数」（ランダムに決定する整数0～999）をあらかじめ決定します。  (2)購入申込者は、購入申込書に任意の３ケタのくじ入力番号を記入します。  上の「乱数」と「くじ入力番号」の和を、くじの計算に使用する実際の「くじ番号」とします。  ただし、この和が４ケタになるときは、下３ケタが「くじ番号」となります。  (3)購入申込書開封時にくじ対象者を抽出し、購入申込書到着日時に基づき並び替え、くじ順位を決定します。  (4)次の計算式で得られた余りの数字を当選番号とします。  　 　くじ対象者のくじ番号の和 ÷ くじ対象者数  (5)くじ順位と当選番号が一致した購入申込書を提出した者が契約の相手方となります。 |

【くじの判定例】

(1)売却超過削減量が8,000ｔ-CO2ある場合に、次のような購入申込書の提出があった場合、Ａ、B、Cの３社がくじの対象となります。

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 購入申込書を提出した者 | くじ入力  番号  (申込書に記入) | 乱数  (あらかじめ決定する) | くじ番号 |  | 単価 | 数量 | くじ  対象 |
| Ａ社 | 125 | 244 | 125 + 244 = 369 | 購入申込書開封 | 300 | 5,000 | 〇 |
| Ｂ社 | 336 | 408 | 336 + 408 = 744 |  | 300 | 5,000 | 〇 |
| Ｃ社 | 007 | 599 | 007 + 599 = 606 |  | 300 | 5,000 | 〇 |
| Ｄ社 | 288 | 034 | 288 + 034 = 322 |  | 300 | 1,000 |  |
| Ｅ社 | 100 | 052 | 100 + 052 = 152 |  | 100 | 10,000 |  |

(2)くじ対象のＡ社、Ｃ社、B社について、購入申込書到着日時の早い順並び替えます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| くじ対象 | 購入申込書到着日時 | くじ順位 |
| B社 | H22.7.1 8時45分 | ０ |
| C社 | H22.7.1 16時55分 | １ |
| A社 | H22.7.3 16時31分 | ２ |

(3)くじ番号の和を対象者３で割ると、当選番号（余り）＝０となり、くじ順位＝０であるB社が購入候補者となります。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| くじ対象 | くじ番号 | くじ順位 | 当選番号の計算 |
| B社(決定) | 744 | ０ | (744 ＋ 606 ＋ 369 ＝ 1,719) ÷ 3  　　　＝ 375 余り 0 |
| Ｃ社 | 606 | １ |
| A社 | 369 | ２ |

(4)売却量より購入希望者の購入量を差し引いてあまりがある場合は、再度他の購入候補者を選定する作業を行います。